

「楽しもうロータリー・広げよう奉仕の輪」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

# 東京昭島中央ロータリークラブ

2012 年(平成 24 年)10 月 10 日(水)  
第 1097 回 例会報告

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (伊藤 満雄副SAA)

●開会点鐘 (柴田 康好会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●本日のお客様

朴 貞子様 (東京米山友愛ロータリークラブ 学友)

●会務報告 (柴田 康好会長)



先週のガバナー公式訪問では、ガバナーに色々とお話をさせていただきました。これを機会に、我々も 25 周年に向けて会員 50 名を目指していきますので、ご協力よろしくお願ひします。

●幹事報告 (荒川 義昭幹事)



本日、ロータリー財団地区補助金委員会へ小島地区補助金委員に出席していただきました。

志賀会員と石川会員の委員会配属が理事会で決定いたしました。志賀会員は、新世代委員会、会場監督委員会です。石川会員は職業奉仕委員会、増強・選考・分類委員会、親睦委員会です。

●卓話「ロータリーで私は何をすべきか」  
東京米山友愛ロータリークラブ 学友 朴 貞子様

★講師紹介 (富田 すゑ子会員)



今月は米山月間です。朴さんは 2001 年に来日し、2008 年、大阪府立大学在学中に獣医博士号を取得、今年 5 月までは東京大学医科学研究所の専門職に就かれていらっしゃいましたが、今年 6 月からは東京工業大学の専門職に就かれていらっしゃいます。

東京米山友愛ロータリークラブにも所属されていて、皆さんと同じロータリアンです。



大学院 3 年の時から私は、米山奨学生に選ばれ 2 年間 2640 地区大阪府岸和田ロータリークラブに大変お世話になりました。

今も忘れないのはオリエンテーションで新規奨学生に向けて司会者の河合先生が「あなたたちは天国に来たと思ってください。」とのお言葉でした。

まさにそうでした。私たちは天国に来ました。米山奨学生であったため、私は沢山のひとと出会い、豊かな人生は出会いから始まることも本当に実感しました。そしてその出会いから人間学も学ぶことも出来ました。

ロータリーのお陰で私は順調に獣医学博士号学位取得が出来まして、卒業する頃にはロータリーとの出会いから就職先を紹介していただき、専攻は違いますが、日本の社会人としてよいスタートを切らせていただきました。当時の社長さんは 2010 年度の 2640 地区ガバナーである米田真理子薬剤師先生であります。私たちの米山友愛 RC チャーターナイトにも大阪から私達のために、河合先生わざわざお越し下さいました。

今年 6 月、私は国家プロジェクトに参加する事になり、現在、日本科学技術振興機構 ERATO プロジェクトの専門職員としてお仕事をさせていただいております。

みなさんはクロレラと言う健康食品はご存じですか。スピルリナと言う健康食品はご存じですか。私は毎日スピルリナ培養を行いまして、これを用いて金属コイルを作っています。金属コイルは金属線をらんせん形状にただけの形状ではあるものの、その電磁的性質から現在の電子機器に無くてはならない材料であります。人工的にマイクロコイル (300 ミクロン) を大量に作製する事は難しく、自然界の力を借りて自然繁殖を用いてボトムアップ的に導電性の高い金属でマイクロコイルを作るのです。

お仕事も楽しく、家族に恵まれ、これからはプラスアルファの時間には、日本への恩返しをしようと思ひます。奉仕には 2 つがありまして、一つは寄付、もう一つはボランティア活動だと思ひます。私は、まだ若いため、寄付より汗を流しながら奉仕活動をしたいです。

私が提案した奉仕活動「国際理解のためのワークショップ」とは、日本の高校生達と異文化交流をすることです。

目的はグローバル社会を生きる、高校生達に自分の国家、文化、生活、教育、経済、宗教などをそれぞれお国柄が違うことを教え、高校生達に自分自身を見つめ直す

きっかけづくりを目的としています。

私がこの情報を提供するのには3つの理由がありまして、一つは、日本の高校生達は外国人と交流する機会が少なく、外国人と交流する為には、こちらから海外に行くか、或いは海外から外国人を招くかになります。その為、学校側、学生、保護者らに経済負担が掛かります。我々のクラブは多国籍のボランティア団体で高校生らが身近で、経済負担もなく、国際理解のための異文化交流が出来ます。また、我々の多国籍メンバー、また米山学友、米山奨学生らは日本語が流暢なのが特徴です。ですから、高校生らが英語で外国人と交流するより充分なコミュニケーションが取れます。

二つ目は、我々の国際ロータリークラブはそもそも奉仕活動を目的とした奉仕団体であります。どんな奉仕活動をするのか、まず自分が持っているものから奉仕活動をはじめましょう。現在アメリカのR1の影響で親睦をメインとしたロータリークラブ活動が数多くあります。親睦活動が悪いものではありません。ただお金がかかる活動であります。その中で私達多国籍メンバーはお金で得難い一人一人が持っている特性を生かして、日本の高校生達に世界的な情報提供を与えることで、経済負担なしで奉仕活動が出来るということになります。これこそロータリーアンとして本来ロータリークラブが求める人間像ではないでしょうか。

三つ目は、この奉仕活動は私が現役奨学生の時に体験したもので、当時留学生として異国の高校生らと交流することはとても新鮮な経験で、一生の思い出となりました。自分が一人前の社会人になった今はその貴重な経験を一つの思い出に終わらせるのではなく、今の現役奨学生にも私と同じような感動を味わって貰いたいです。

そして、今の現役奨学生らも自分らが社会人になった時に、私と同じような考えでまた次の現役奨学生らを引っ張ってくれば、奉仕を中心とした米山精神を継続して行くものではないかと思いました。

ロータリーの友には人を育成する米山記念奨学会と書いてありました。まさにその通りで、このプログラムを現役奨学生である私達に企画してくれたのは大阪のある地区の米山記念奨学会であります。

東京に転職して来た今、私は、ロータリーアンとして現役奨学生にも、日本の未来である子供らにも人を育成する義務と権力があるのではないかと思います。

★謝辞（平畑 秀東会長エレクト）



本日色々なお話を聞いて感動しました。奉仕とはやはり心です。心を繋ぐことが大切です。日本人はこういう人間で、こういう民族だということを伝えていただければ、私達もご提供出来た価値があると思います。

## ●ニコニコBOX 発表 (小島 弘明親睦委員長)



○柴田会長  
ガバナー公式訪問例会ご協力をいただきありがとうございます。本日の卓話朴貞子さんありがとうございます。

・荒川幹事  
朴貞子さん本日の卓話よろしくお願い致します。また、先週のガバナー公式訪問では皆様誠にありがとうございます。

10月結婚記念 内藤会員・渡邊会員

10月誕生記念 小山会員・渡邊会員・若杉会員

## ●出席報告 (曳地 義正出席委員)



会員数 46名 出席義務会員 44名

本日の出席 31名（メイクによる出席者数を除く）

## ●次週例会予定 (工藤 開光プログラム委員長)



10月17日（木）卓話「地区職業奉仕について」  
地区職業奉仕委員長 日野 正紀様

## ●閉会点鐘 (柴田 康好会長)